

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

平成 29 年度 社会福祉法人流山市社会福祉協議会事業報告

平成 29 年度は、「第 2 次流山市地域福祉活動計画」と「流山市社会福祉協議会活動強化計画」がスタートしたことから両計画に沿って各種事業を展開しました。

内部的には、組織の活性化を目的に機構改革を行い、課制を敷き、研修を充実させました。

地域福祉活動の啓発のため、ホームページを全面リニューアルし、スマートフォン対応のレイアウトとし、SNS 発信を充実させ、バナー広告による新たな財源確保も行いました。

福祉活動の啓発と財源確保については、福祉をテーマにした映画やテレビドラマの撮影に協力したところです。当会が制作協力した認知症への理解を深めるための DVD 教材は、全国で活用され、流山市でも中学生を対象に開催した「認知症キッズサポーター養成講座」などで効果をあげました。

福祉教育の推進については、流山中央地区社会福祉協議会と流山小、南部中、流山南高校によるモデル指定の最終年度に当たることから 3 年間の実績の発表会を行い、今後の継続を確認しました。一方、「地区社会福祉協議会」をテーマに講演会を開催するなど地域福祉の普及啓発を図りました。

児童福祉については、増え続ける学童クラブへの入所希望に対応し受け入れを強化しました。また、子育て世代が急増している地域で、流山市民生委員児童委員協議会と流山市生涯学習センター、そして当会との共催による「子育てサロン」を開始しました。

この「子育てサロン」を共催している流山市民生委員児童委員協議会については、当会が事務局を担当していますが、平成 29 年度は、民生委員制度が誕生して 100 周年、児童委員制度が誕生して 70 周年の節目の年に当たったことから、記念の全国大会への参加など事務局として同協議会との連携を図り各種事業を展開しました。

障害者福祉については、耳や目のご不自由な皆さんにも舞台芸術を楽しんでいただくため、企画段階から障害者団体と連携し、流山市教育委員会や高校演劇部の協力を得て「バリアフリー演劇鑑賞会」を開催しました。

また、災害時に備え、「避難所運営ゲーム」を購入し、市民団体との協働でワークショップを開催しました。また、初めて「流山市総合防災訓練」に当会のブースを設置し、災害ボランティアセンターの運営等を目的に開催している各種講座の周知を図りました。さらに、災害時には、安全靴や防災服で活動できるよう職員に防災服等を貸与しました。

なお、昭和 42 年 10 月 21 日にスタートした当会は、平成 29 年度に創立 50 周年を迎えたことから、各種団体の協力を得て流山市文化会館で記念大会を開催し、福祉の充実に尽力された方々に感謝の意を表し、これからの更なる福祉活動の充実を誓いました。

1 社会福祉事業

(1) 法人運営

・組織の運営

○理事会

- ①平成29年5月18日 平成29年第2回
(評議員の推薦について、平成28年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成29年6月16日 平成29年第3回
(会長・副会長等の選任について、総合企画委員会委員、広報・高齢者対策委員会委員等の選任について 他)
- ③平成29年8月9日 平成29年第4回
(会員規程の一部を改正する規程の制定について 他)
- ④平成29年10月4日 平成29年第5回
(流山市社会福祉協議会創立50周年記念大会について)
- ⑤平成29年12月14日 平成29年第6回
(評議員の承認について、職員就業規則の一部を改正する規則の制定について、社会福祉事業区分補正予算について 他)
- ⑥平成30年3月12日 平成30年第1回
(平成29年度社会福祉事業区分及び公益事業区分補正予算について 平成30年度事業計画・予算について 他)

○評議員選任・解任委員会

- ①平成29年6月7日 平成29年第2回
(評議員の承認について)
- ②平成29年10月4日 平成29年第3回
(評議員の承認について)

○評議員会

- ①平成29年6月13日 平成29年第2回
(理事・監事の選任について、平成28年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成29年10月4日 平成29年第3回
(流山市社会福祉協議会創立50周年記念大会

について)

- ③平成29年12月14日 平成29年第4回
(社会福祉事業区分補正予算について)
- ④平成30年3月12日 平成30年第1回
(平成29年度社会福祉事業区分及び公益事業
区分補正予算について 平成30年度事業計
画・予算について)

○三役会

- ①平成29年5月15日
(平成28年度決算について、創立50周年記念大会について)
- ②平成29年9月26日
(創立50周年記念大会について)
- ③平成30年3月8日
(平成29年度補正予算について、平成30年度事業計画・
予算について 他)

○委員会等

①広報・高齢者対策委員会	平成29年6月1日、9月1日、 平成30年3月2日
②児童・障害者対策委員会	平成29年9月27日
③歳末たすけあい配分委員会	平成29年12月7日、 平成30年3月7日
④生活福祉資金等貸付調査委員会	平成29年12月19日
⑤心配ごと相談所運営会議	平成29年5月30日、7月21日、 10月27日、平成30年2月23日

○監 査

①平成29年5月12日	平成28年度監査
②平成29年11月10日	平成29年度中間監査
③平成29年12月25日	財政援助団体監査(流山市)
④平成30年1月18日	平成29年度社会福祉法人指導監査 (流山市)

・組織体制基盤の強化

○研修

市民のニーズに的確に応え、優れた福祉サービスを提供していくために職員一人ひとりが役割に対応した能力を備えられるようにするとともに、社会福祉協議会の組織力のより一層の強化を図ることを目的に実施した。

- ①平成29年6月29日～30日 初級管理職研修
- ②平成30年1月16日 ハラスメント防止研修(全職員対象)

・創立50周年記念事業

創立50年の節目を機に、本会の継続的事業の社会的貢献度を内外に周知し、組織の基盤強化や住民の信頼と理解を得る機会として、また、創立から今日に至るまでの歩みを振り返り、10年後や20年後の未来に思いを馳せ、「誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を目指して、中心的な役割を担うことを誓うとともに、これまで地域福祉の向上に貢献を重ねてこられた方々を表彰し、感謝の意を表するため、50周年記念大会を開催した。

流山市文化会館 平成29年10月28日

- ①会長表彰 出席者108名
- ②会長感謝 出席者234名・団体

・会員募集

社協会費は、さまざまな福祉関係団体への助成、福祉教育やボランティア活動の推進、地区社会福祉協議会、高齢者の福祉対策費等に充てられ、「誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり」を目指した本会の事業を進める上で大切な財源となっている。

また、社協会員になることによって、一人ひとりが「地域福祉」を自らの活動として受け止め、地域福祉活動に間接的に参加していただくという意味合いも持っている。

社協会費について、普通会员は全世帯の皆様にお願ひし、社協の福祉事業推進にご理解ご賛同いただける個人や法人の皆様には、賛助会員、法人会員としてご協力をお願いした。

○協力員会議

市内の各自治会よりご推薦をいただいた協力員を対象に、協力員会議を開催し、社協活動（地域福祉の推進活動、高齢者・障害者等を支えるための在宅福祉サービス事業、ボランティア活動の推進事業等）の資金の一部に充てられる会費と公的施策のみで支えられない分野を支援するための民間福祉事業の財源の確保や、募金活動を通じての住民相互の助け合い精神の普及を目

的とした赤い羽根募金、地域住民や民生委員・児童委員、社会福祉施設等の関係機関や団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に援護を必要とする世帯等への支援や地域福祉活動推進・強化のための歳末たすけあい募金の取りまとめについて依頼した。

・第1回協力員会議

①文化会館	平成29年6月22日	出席者	35人
②東部公民館	6月22日	出席者	16人
③北部公民館	6月23日	出席者	33人
④初石公民館	6月23日	出席者	29人
		合計	113人

- <会議事項>
- 1) 第2次流山市地域福祉活動計画について
 - 2) 平成29年度事業計画について
 - 3) 社会福祉協議会会費について

・第2回協力員会議

流山市生涯学習センター 平成29年11月17日 出席者87人

- <会議事項>
- 1) 記念講演会
「福祉のまちづくりと地区社協について」
講師 順天堂大学 准教授 松山 毅 氏
 - 2) 歳末たすけあい募金運動の依頼について
 - 3) その他

(2) 広報啓発

- ①広報紙「ながれやま福祉だより」の発行
年4回(6・9・1・3月)
(1回あたり55,600部、新聞折り込みにより全世帯配布)
- ②ホームページの全面改正及び運営(バナー広告4社)
- ③パンフレットの発行 7,000部
(世帯回覧のほか、公共施設の窓口等で配布。)
- ④SNSの開設(ツイッター及びフェイスブック)
- ⑤その他

認知症の理解を深める小中高生向けDVD教材「おばあちゃんが家に来た～認知症って?」の制作をはじめ、こどもの貧困や高齢社会をテーマにした映画及びドラマの制作に協力した。また、障害者差別解消法の施行を受け、平成28年度から始めた「バリアフリー演劇鑑賞会」を、平成29年10月22日に流山市文化会館において、流山市教育委員会との共催で開催した。

(3) 福祉活動

・福祉団体の支援及び連携、協働

地域福祉の充実と向上を図ることを目的とした福祉関係団体（柏地区保護司会流山支部、東葛飾地区更生保護女性会、流山市原爆被爆者の会、流山市身体障害者福祉会、流山市視覚障害者協会、精神障害者家族会よつば会）等の活動に対し、その運営及び事業活動への助成を行うことにより、地域福祉の推進を図った。

また、流山市民生委員児童委員協議会と流山市老人クラブ連合会の事務局業務を担い、各種事業の運営や関係機関との連絡調整等に努めた。

(4) 地域福祉推進

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、小・中学校の協力を得て啓発用のポスターを作成し、市内公共施設や自治会掲示板に掲示したほか、昨年度より流鉄流山線の車内に民生委員児童委員協議会で実施している児童虐待防止標語ポスターと併せて掲示し、住民に対しての福祉啓発活動を行うとともに、地区社会福祉協議会活動を支援し、地域ぐるみ福祉活動の推進に努めた。

また、平成29年度末に、地区社協等、福祉関係団体との地域懇談会を開催し、今年度4月にスタートした第2次流山市地域福祉活動計画の進捗状況について説明すると共に地域課題について、意見交換を行った。

・流山市地域福祉活動計画の推進

地域懇談会の開催

(市内4包括支援センター圏域において地域懇談会を下記のとおり開催した。)

開催月日	開催場所（午前・午後）	内 容
平成30年3月1日	東部公民館 流山市ケアセンター	・第2次流山市地域福祉活動計画の進捗状況について ・地域課題等についての意見交換
平成30年3月6日	森の倶楽部 流山市クリーンセンター	・第2次流山市地域福祉活動計画の進捗状況について ・地域課題等についての意見交換

・ミニフードバンク事業（善意の受入・払出）

社会福祉協議会では、善意の受入・払出として住民の皆様からの善意で提供いただいた物品を必要とされている方に対し、提供した。

お寄せいただいた物品の中で特に、食料品（お米・レトルト食品など）や日用品（洗剤・ハンドソープなど）について、平成29年度よりミニフードバンク事業として、一時的に生活に困窮している方へ提供した。

また、この事業は生活困窮者自立支援事業自立相談機関と連携し対応している。

品名	受入件数	払出件数
食料品	14	40
日用品	25	12
介護用品	13	6
その他	11	4
合計	63	62

・地区社協活動の推進

地区社会福祉協議会代表者会議の開催

開催月日	開催場所(午前・午後)	内容
平成30年3月14日	流山市中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度地区社会福祉協議会補助金について 行政からの伝達事項他

・福祉教育活動の支援

地域ぐるみ福祉事業の推進

市民まつり（福祉会場）・市内全域において、啓発活動等を実施し、福祉意識の高揚に努めた。

開催月日	内容
9月27日	○児童・障害者対策委員会（地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語の審査） 応募数 ポスター 小学生36点 中学生25点 標語 小学生75点 中学生43点
10月29日	○市民まつり（福祉会場）における啓発活動
11月1日～12月末	○地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語最優秀賞ポスターを市内公共施設・自治会掲示板に掲示し、福祉の啓発活動を行った。他流鉄流山線の車内にも掲示した。

○夏休みビデオ上映会

流山市・流山警察署との共催で、市内の学童クラブを会場に夏休み期間中の事故や犯罪の防止を図るとともに、児童福祉への啓発を図ることを目的に、ビデオ上映会とパトカーの乗車体験を実施した。

期日	開催場所	時間	参加児童数
7月26日	あずま学童クラブ	13:30～15:00	58
7月26日	やまびこ・八木北学童	15:30～17:00	25
8月2日	どんぐり学童クラブ	10:00～11:30	92

8月2日	あすなる学童クラブ	13:30~15:00	73
8月3日	ちびっこクラブ	10:00~11:30	65
8月9日	おおたかの森ルーム合同	10:00~11:30	34
8月9日	ひまわり学童クラブ合同	13:30~15:00	54

合計 401名

(5) ボランティアセンター

・災害時の対応

「流山市社会福祉協議会災害時対応マニュアル」に基づく、災害ボランティアの養成や、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を実施した。また、各種防災イベントへ積極的に参加し、災害ボランティアセンターの紹介や登録ボランティア・グループと連携して車いす体験等の災害時要配慮者体験を行い、災害時に備えた各種団体等との連携・協力体制の強化を図った。

○平成29年8月27日

平成29年度流山市総合防災訓練（江戸川台小学校）

○平成29年12月2日

おおたかの森防災フェア2017（流山おおたかの森駅南口広場）

○平成30年3月23日

避難所運営ゲーム（HUG）シミュレーション（流山市生涯学習センター）

災害ボランティア養成講座の開催

講座名等	開催月日	内 容	参加人員
災害ボランティア 入門講座	9月26日	講義 「第1部 自分が被災した場合」 ・災害支援の一般知識・緊急時の対応・被災者同士の配慮 「第2部 支援する場合」 ・ボランティアとしての心構え、被災者への配慮 「第3部 日常からできること」 ・個人でできる災害への備え・地域活動を活かす方法・自分でできるボランティア活動 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局長代行 天寺 純香 氏	16人

<p>災害ボランティア リーダー養成講座</p>	<p>10月13日</p>	<p>講義 ・流山市に想定される災害について 講師 流山市市民生活部防災危機管理課 課長 鶴巻 浩二 氏 ・流山市災害ボランティアセンターに ついて 説明 流山市ボランティアセンター 事務局 講義・演習 ・災害シミュレーション～クロスロード ゲームを通して学ぶ～ 講師 公益社団法人SL災害ボランティ アネットワーク千葉県ネットワ ーク流山・野田ネット 岡部 英雄 氏 ・応急救護について～AEDの使用 方法、 三角巾と応用手当～ 講師 日本赤十字社千葉県支部 流山市地区奉仕団 阿部 春代 氏 高橋 静代 氏 埋金 玲子 氏 一尾 孝子 氏 海老原 智子 氏</p>	<p>16人</p>
<p>災害ボランティア リーダーフォロー アップ講座</p>	<p>2月21日</p>	<p>講義 ・災害ボランティアセンタースタッフの 役割と各係の働きについて 演習 ・災害ボランティアの受付～活動報告ま での流れを演習を通して学ぶ 講師 千葉県SLネットワーク 事務局長 片桐 卓 氏</p>	<p>21人</p>

・ボランティアの活動支援

各種ボランティア講座の開催や、市民への情報の提供及び要請に伴うボランティア活動の調整や器材の貸し出し等を行い、ボランティアの育成と活動支援に努めるとともに、ボランティア・グループ、関係機関・団体との連絡調整を密にし、ボランティア活動の普及と推進に努めた。

①ボランティア養成講座の開催

講座名等	開催月日	内 容	参加人員
ボランティア入門講座	2月22日	講義 「ボランティアをはじめよう ～「人にやさしく自分も楽しく」 実習・体験 「障害などによるコミュニケーションの 支援の必要な方をサポートしよう ～アイマスク・白杖・車いす体験」 講師：江戸川大学総合福祉専門学校 越智 久恵氏	9人

②登録ボランティアの活動状況

- ・年間総活動人数（延べ）

24,769人

- ・ボランティアセンターの要請に基づく活動人数3,640人

※施設ボランティア（27施設）含む

		高齢者	身体 障害者	知的・精神 障害者	児童	その他	合 計
個 人	延べ人数	1,109	375	456	35	13	1,988
グループ	回 数	308	10	3	7	28	356
	延べ人数	1,372	49	14	53	164	1,652
合 計		2,481	424	470	88	177	3,640

登録ボランティア人数

- ・個人755人（新規登録13名 辞退6名）
- ・グループ数1,472人（71グループ） 計2,227人

③行事への参加

平成29年12月4日～8日

平成29年度障害者週間展示事業（流山市役所ロビー）

④器材の貸出状況

品名	貸出回数	品名	貸出回数
ワイヤレスマイクセット (ハンド・ピン)・ライト	181	かき氷機	8
高齢者疑似体験セット	25	アイマスク・点字器・白杖	9
プロジェクター	24	その他(スクリーン等)	24
		合計	271

・介護支援サポーター事業の推進

流山市より介護支援サポーター事業を受託し、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防と地域貢献を推進するため、事業説明会や介護支援サポーター養成講座、フォローアップ講座、広報紙の発行等を行い、サポーター活動の普及と推進に努めた。

①介護支援サポーター事業説明会

	開催月日	内 容	参加人員
1	平成29年 6月14日	○介護支援サポーター事業の概要について ○サポーター活動開始までの流れについて ○活動実績スタンプの活用について等	2人
2	8月17日		4人
3	10月20日		6人
4	12月12日		2人
合 計			14人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

②介護支援サポーター養成講座

	開催月日	内 容	講師ほか	参加人員
1	平成29年 5月26日	○説明「介護支援サポーター事業について」 ・制度概要、講座～登録～活動までの流れ ○講義・実習	江戸川大学 総合福祉 専門学校	23人
2	7月19日	「介護支援サポーター活動での心がけ」 ・サポーター活動の心構え ・利用者との接し方～コミュニケーション・		14人

3	9月7日	傾聴について～車いす試乗・介助体験～ ○講義「活動先となる介護保険施設等の理解」 ～介護保険制度の理解について～	流山市 介護支援課	12人
4	11月17日	○講義「要介護認定者の心と体を理解する」 ～高齢者特有の傷病について～ ○講義「認知症への理解と対応について」 ～認知症サポーター養成講座～	地域包括 支援センター	19人
5	平成30年 1月16日	○「活動スタートに向けて」 ・受入施設職員から自施設における活動紹介 ・サポーターから自らの活動紹介 ・受入施設職員との個別面談	受入施設職員 サポーター	9人
合 計 (登録者数)				77人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

③介護支援サポーターフォローアップ講座

開催月日	内 容	講 師	参加人員
(前期) 平成29年 6月6日 6月21日	○講演 「認知症の方を支援するということ ～介護体験を踏まえて～」 ○サポーター交流会 ～グループワークを通じて活動の情報交 換や活動開始のヒントを見つけましょ う～	公益社団法人認知 症の人と家族の会 千葉県支部	51人 33人
(後期) 11月2日 11月16日	○講義・演習 「要介護高齢者の状態に合わせた 傾聴方法」 ○学習のまとめの発表・グループ意見交換	江戸川大学総合 福祉専門学校	30人 34人
合 計			148人

※会場は北部公民館、南流山センター、初石公民館、生涯学習センターで実施

④介護支援サポーター活動状況

登録者	621人
活動人数	284人
延参加人数	7,166人

※受入施設数 69施設

(6) 相談事業

・心配ごと相談所の開設

流山市ケアセンターにおいて、心配ごと相談所を毎週水曜日（午後1時から3時30分まで）に開設し、市民の心配ごと・悩みごとの相談に民生委員・児童委員（16人）が2人体制で応じ、その解消に努めた。

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	1	財産	6
年金	1	事故	0
職業・生業	1	児童福祉・母子保健	1
住宅	1	教育・青少年	0
家族	9	障害者福祉	0
結婚	0	母子福祉・父子福祉	0
離婚	2	高齢者福祉	0
健康・保健・衛生	2	苦情	1
医療	1	その他	8
人権・法律	0	合計	34

・成年後見相談所の開設

成年後見に関する相談所を開設し、高齢や障害などによって判断能力に不安がある方を法律的に支援する制度についての疑問や利用法等の相談に応じた。

相談日：平成29年9月12日、11月16日、平成30年1月26日
平成30年3月13日（4回）

相談者数： 8人

(7) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力が十分でないため、財産管理や福祉サービスの利用手続きが独力では難しい高齢者や障害者等に対して、日常生活自立支援事業の利用に関する相談、訪問調査、県契約締結審査会へ審査依頼、契約、実際の支援活動を実施した。

また、流山市社協パンフレットやホームページ、「ながれやま福祉だより」に事業内容を掲載し、普及啓発に努めた。

さらに、市内の関係機関（行政・地域包括支援センター・民生委員等）や、千葉県後見支援センターの協力により、関係機関連絡会議を開催し、高齢者・障害者の権利擁護に係る機関の相互連携及び本事業の円滑な推進を図るための協議を行った。

- ・相談人数 30人（実人数）

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
18	2	6	4	30

内容：日常的な金銭の管理等に関する相談 14件
 事業への問い合わせ 13件
 福祉サービスの手続きなど 1件
 成年後見制度に関すること 1件
 虐待等に関すること 1件

- ・相談・訪問調査等（相談継続ケース）

相談・訪問調査等延べ回数

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	うち訪問調査件数
96	31	4	3	134	18

- ・利用者数 10人（年度当初8人利用 新規契約1人 終了1人）

- ・支援回数・時間（利用者10人の延べ支援回数・時間）

支援回数：97回

支援時間：133時間

- ・支援内容

① 福祉サービス利用援助（福祉サービス利用手続きの援助）	10人
② 財産管理サービス（預貯金の引出しや公共料金等の支払等の援助）	10人
③ 財産保全サービス（通帳・実印・不動産権利証等の貸金庫での保管）	2人

- ・生活支援員（利用者宅を定期訪問して上記①・②の支援を行う）

現任者：8人（うち29年度新任2人）

登録者：3人（うち29年度新規登録1人）

退任者：2人

- ・生活支援員連絡会議

日時：平成30年3月26日

内容：研修「日本司法支援センター（法テラス）の役割と特定援助対象者
 法律相談の概要について」ほか

- ・関係機関連絡会議

日時：平成30年2月26日

内容：「平成29年度の日常生活自立支援事業に関する相談・契約等の状況について」ほか

(8) 共同募金配分金

・高齢者福祉対策	ひとり暮らし高齢者日帰り交流会 平成30年3月20日、成田市（成田山新勝寺）へひとり暮らしの高齢者196人を招待した。
・ボランティアセンター	8頁～11頁参照（ボランティア活動促進）
・身体、知的障害者対策	車いすの貸出し 日常生活に支障を持つ人々の社会参加を図るとともに、文化的な生活を営めるよう、市内に居住する心身障害者（児）や高齢者等、これらを介助、指導する家族、ボランティア、関係機関、団体の役職員等に車いすを貸し出し、支援に努めた。 車いす 312件 延べ387台（所有台数89台）
・福祉活動	6頁参照（福祉活動団体支援）
・広報啓発	5頁参照（広報活動）
・地域福祉活動	6頁～7頁参照（地区社協活動の推進）
・法人運営	4頁参照（創立50周年記念事業）
・歳末たすけあい運動	低所得者（要保護世帯）、交通遺児世帯等が明るいお正月を迎えられるように、民生委員・児童委員の協力を得て年末に援護金等を届けるとともに、従来から支援している障害者支援施設利用者、福祉施設入所者等に加え歳末たすけあい配分委員会では、子どもに対する支援の拡充について議論され、29年度は、住民の手作りにより運営されている子ども食堂に対して支援金を届けた。 ※配分内容については下表のとおり

○歳末たすけあい募金の配分

区 分	世帯数等	人員	金額（千円）
要保護世帯	28世帯	58	1,200
生活困窮者自立支援機関	1カ所		100
市給食サービス利用者（おせち料理）		78	183
障害福祉サービス事業所等	37事業所		1,170
障害者生活ホーム	5事業所		250
児童養護入所児童・乳児院入所児		23	460
交通遺児		1	20
子どもに対する支援（子ども食堂）		2件	100
ひとり暮らし高齢者日帰り交流事業			400
福祉だより172号発行費(共同募金特集号)			100

配分経費			41
合 計			4,024

(9) 共同募金事業への協力

赤い羽根共同募金は、民間の運動として終戦直後の1947年（昭和22年）に市民が主体の取り組みとしてスタートし、平成29年度に70周年を迎え、全国的に「赤い羽根共同募金」として、広く親しまれ定着している。

歳末たすけあい募金運動は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア・NPO団体、民生委員・児童委員、社会福祉法人、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、高齢者、障害者、子ども、若者、福祉サービスを必要とする人など誰もが地域社会の一員として参加できるさまざまな福祉活動を展開し、地域において孤立することなく自分らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るものである。

共同募金の役割は、福祉活動や課題を抱える方等を含めた地域住民の主体的な参加を促し、地域課題解決のための活動をつくり、定着させていくことである。

本会では、千葉県共同募金会の流山市支会事務局を務め、社会福祉についての住民の理解とたすけあいの精神を高めるとともに、人々の善意による民間社会福祉事業の進展を図るため、共同募金運動を推進した。

(10) 介護保険（社会福祉事業）

・訪問介護事業

日常生活に支障のある要支援及び要介護高齢者に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護や日常生活の支援に努めた。

また、より良い支援が行なえるように、月1回以上定期的に、職員研修会を実施し、介護技術の向上や必要な知識の習得に努めた。

○訪問介護員派遣状況 () 内は総合事業 ※全体数に含む

利用者数〔人〕	696	(125)	人
身体介護〔時間〕	2,634	(77)	時間
生活援助〔時間〕	2,603	(558)	時間
訪問時間数総計〔時間〕	5,237	(635)	時間
訪問回数総計〔回数〕	5,697	(665)	回

・訪問介護員研修実施状況 事業所主催研修 年間48回

定例会のほか、介護実習、新人研修等を開催するとともに、個別指導を随時実施し、職員の介護技術の向上等資質の向上に努めた。

・ターミナル(看取り)ケア実施状況 年間8ケース

・ママ&ベビーヘルプ事業

産褥期の親子に対して訪問介護員を派遣し、自宅における沐浴、オムツ交換、授乳等の援助や生活支援に努めた。

利用者数〔人〕	7	人
訪問時間数総計〔時間〕	43.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	52	回

・生活支援サービス事業

当事業所利用中の方で、給付対象外のサービスを必要としている利用者に対して必要な支援を行い、日常生活の支援に努めた。

利用者数〔人〕	52	人
訪問時間数総計〔時間〕	285.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	249	回

・通所介護事業（高齢者デイサービス）

要支援・総合事業対象及び要介護者を送迎し、介護保険法のケアプランに沿ったサービスの提供を行い、生活意欲の向上や社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上と併せ、介護者の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

また、平成29年度から開所時間を7時間30分に拡大し、サービスの充実と向上を図った。

認知症ケアの確立のために、4名の職員が認知症実践者研修を受講し、また、地域包括ケアシステムの構築と医療、介護連携構築のための会議、講義に積極的に参加し、職員のより専門的なスキル向上に努めた。

（1）サービスの種類・内容

- ①日常動作訓練 音楽・創作的活動・レクリエーション・屋外活動等
- ②健康指導 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導
- ③生活指導・相談 日常生活上の訓練、指導、相談
- ④給食サービス 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供
- ⑤入浴サービス 一般浴・リフト浴を用意し、安全かつ快適な入浴の提供
- ⑥機能訓練 機能訓練指導員による心身等の状況に応じた機能の維持・向上訓練

(2) 利用状況

開所日数		309日
利用延人員		5,106人
内 訳	総合事業	516人
	要介護1	1,528人
	要介護2	1,759人
	要介護3	485人
	要介護4	648人
	要介護5	170人
入浴サービス利用者延人員		3,008人
給食サービス利用者延人員		5,051人
送迎サービス利用者延人員		10,200人

(11) 居宅介護

・ 障害者等訪問介護事業

日常生活に支障のある身体・知的・精神障害者(児)等に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護、日常生活の支援及び外出のための支援に努めた。

○訪問介護員派遣状況

利用者数 [人]	153	人
身体介護 [時間]	1,210	時間
生活援助 [時間]	364.5	時間
重度訪問 [時間]	1,242.5	時間
同行援護 [時間]	133	時間
移動支援 [時間]		
(身体介護を伴う)	18	時間
(身体を伴わない)	0	時間
訪問時間数総計 [時間]	2,968	時間
訪問回数総計 [回数]	2,179	回

○吸引等特定行為実施状況

人工呼吸器装着の重度の利用者2名に対して、痰の吸引や胃瘻による注入等の特定行為を実施した。

年間延訪問日数 440日

・身体障害者デイサービス事業

流山市からの受託事業として、在宅の身体障害者を送迎し、各種サービスの提供、専門講師によるリハビリ（松戸整形外科より理学療法士、作業療法士を派遣）、音楽療法、木彫り、書道、七宝焼、絵画などを通じ、心身機能の維持・向上、家庭内自立や職場復帰を目指す方の自立と、社会参加を促進し、併せて家族の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

なお、利用者に満足していただけるようデイサービスセンターの廊下に「目安箱」を設置し、広く利用者等から意見を求め、デイサービスの運営の改善に努めた。

また、利用者や介護者にデイサービスでの利用者の様子や行事などを紹介し、デイサービス事業への理解と関心を深めていただけるように、3ヵ月毎に施設だより「フレンズ」を発行した。

なお、平成28年度から土曜日及び祝日も開所し、サービスの充実と向上を図った。

（１）サービスの種類・内容

- | | |
|---------|----------------------------------|
| ①機能訓練 | 理学療法・作業療法・音楽療法 |
| ②創作的活動 | 木彫り・書道・七宝焼き・作品作り等 |
| ③社会適応訓練 | 調理実習・パソコン・屋外活動等 |
| ④健康指導 | 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導 |
| ⑤更生相談 | 福祉、日常生活等の各種相談 |
| ⑥給食サービス | 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供 |
| ⑦入浴サービス | 一般浴・リフト浴 |

（２）利用状況

開所日数		308日
利用延人員		2,918人
内 訳	区分1(軽度)	1,515人
	区分2(中度)	1,215人
	区分3(重度)	188人
入浴サービス利用者延人員		1,206人
給食サービス利用者延人員		2,786人
送迎サービス利用者延人員		5,620人

(12) 放課後児童健全育成

・あすなろ学童クラブ、ひまわり第1学童クラブ及びひまわり第2学童クラブの管理運営

平成24年度より、指定管理者としてあすなろ学童クラブ・ひまわり学童クラブの2クラブを管理・経営を行っている。子育て世代の増加に伴い平成28年度には、鱈ヶ崎小学校区にひまわり第2学童クラブを開設し、その学童クラブの管理・経営も行った。学童クラブは、保護者が就労等で放課後の家庭保育が困難な概ね10歳未満の南流山小学校及び鱈ヶ崎小学校に通学する児童を、保護者が終業後迎えに来るまでの間、学童クラブで保育し、楽しく集団生活を送ることで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう努めた。

(1) 内容

- ① 日常保育 おやつ・室内・外遊び(集団・自由)・宿題・読書 等
- ② 行事 誕生会(毎月)・お楽しみ会・昼食会・遠足 等
- ③ 親子行事(父母会と共催) 夏季・冬季に1回ずつ開催

(2) 開設・利用状況(延べ)

	あすなろ学童クラブ	ひまわり第1学童クラブ	ひまわり第2学童クラブ	
開設日数(日)	264日	274日	277日	
開設時間(時間)	1,822時間	1,968時間	2,038時間	
児童数 (月延べ/平均)	1,397/116.4人	618/51.5人	533/44.4人	
内 訳	1年生	704/58.7人	207/17.3人	192/16人
	2年生	400/33.3人	226/18.8人	204/17人
	3年生	293/24.4人	185/15.4人	137/11.4人

保育時間： 平日 授業終了後 ～ 午後9時
土・夏休み等 午前7時30分 ～ 午後9時

(13) 生活困窮者等の支援

・福祉資金の貸付事業

低所得世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談援助により、経済的自立と生活意欲の助長をはかり、安定した生活が送れるよう、生活福祉資金(福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・総合支援資金・緊急小口資金・臨時特例つなぎ資金)及び愛の資金(小口貸付資金)の貸付相談及び支援、償還指導に努めた。

特に、生活困窮者(世帯)等に対しては、平成27年4月より施行された生活困窮者自立支援事業と連携し、流山市及び流山市くらしサポートセンターユースネット(生活困窮者自立支援事業自立相談機関)、公共職業安定所等と連携した対応を行い、自立支援相談機関の作成する自立支援計画に基づき貸付申請につなぎ、貸付の実施後においても、自立相談支援機関とともに、当該世帯への見守り及び償還指導を

行い、生活の安定が図れるように努めた。

○相談内容・件数(平成29年度)

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生活費	258	転居費	16	障害者自動車購入	18
失業	23	自己破産・倒産	0	福祉用具購入	0
就学・修学費	163	住宅改修	0	その他	24
医療・介護費	24	冠婚葬祭費	6	償還相談	162
不動産担保型生活資金	17	事業資金	0	合計	716
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	5	出産費	0		

貸付状況(平成29年度貸付件数)

○生活福祉資金(千葉県社会福祉協議会委託事業)

資金名	申請件数(申請額)	決定件数(決定額)	備考
福祉資金	3件(1,000,000円)	3件(1,000,000円)	療養(1)、葬祭(1)、 障害者自動車購入(1)
教育福祉資金	9件(10,477,791円)	9件(10,477,791円)	大学(1)、専門(4)、 高校(4)
総合支援資金*	1件(288,000円)	1件(288,000円)	
緊急小口資金*	8件(640,000円)	7件(540,000円)	不承認1件
臨時特例 つなぎ資金*	0件(0円)	0件(0円)	
合計	21件(12,405,791円)	20件(12,305,791円)	
不動産担保型 生活資金	0件	0件(0円)	

*印は生活困窮者自立支援事業との連携対応を要する貸付資金

○愛の資金(本会独自事業・小口貸付資金)

貸付件数	101件	貸付金額	2,236,200円
------	------	------	------------

○法外援護

件数	金額(円)
5	2,500

○災害見舞金

区 分	件数	金額(円)
火災	0	0
死亡・重傷	0	0
床上浸水	0	0
合 計	0	0

(14) 施設管理

・流山福社会館の管理運営

1 開館日・利用時間

①開館日 年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日

②利用時間 午前9時～午後10時まで

利用者の利用に支障のないように午前8時30分に開館し、午後5時以降の利用がない場合は、午後5時に閉館した。また、夜間(午後5時以降)の運営・管理にあたっては、市民の利便に供するよう柔軟な対応と経費節減に努めた。

利用件数（人数）

場 所	利用可能 日 数	午 前		午 後		夜 間		件数 合計	利用者 合 計
		件数	合計	件数	合計	件数	合計		
大広間	359	191	2,244	268	3,402	41	738	500	6,384
和 室	359	319	3,686	356	3,725	9	65	684	7,476
会議室	359	358	4,330	697	9,004	73	480	1,128	13,814
音楽室	359	260	1,810	269	1,512	49	253	578	3,575
計	1,436	1,128	12,070	1,590	17,643	172	1,536	2,890	31,249

2 入浴施設の開設日・利用時間

①開設日 週4日（火・水・金・日曜日）

②利用時間 午前10時～午後3時まで

特に高齢者の利用が多いため、受付業務等を利用者の利便性や特性に配慮して、利用者の希望や要望に適うよう努めた。特に、入浴施設の運営には、利用心得等を掲示し、常に浴室及び休憩室を清潔に保ち、安心・安全に利用できるよう努めた。

入浴者数（年間） 5,717人

3 施設の機能を生かした事業等

利用者から施設利用に関する希望を徴する等して、利便向上に資するよう配慮し、より有効な利用に供するよう努めた。また、地域の自治会等の恒例的な行事の使用については、年間予定の事前調整を行うなど地域団体等の利用に配慮した。

4 自主事業について

江戸川堤で第41回流山花火大会が行われ、当館では花火大会実行委員会と連携して全室を夜10時まで開放し、観覧者のトイレや休憩、授乳などの場としてご利用いただくことで市内外の方々に喜ばれた。

期 日 平成29年8月20日
内 容 第41回流山花火大会休憩所

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方たちが地域で安心して暮らすことができるよう、福祉活動やコミュニティ活動の場として、近隣の方々に身近な憩いの施設として親しまれてきた当館を会場に、歳末たすけあい募金チャリティコンサートを実施した。

期 日 平成29年12月16日
内 容 「歳末たすけあいチャリティコンサート」
素敵な音楽とバレエによるひと足早いクリスマスコンサート
入場者44人
募金額 16,986円

5 各設備の維持管理

各設備の保守点検等は、関係法令及び各ガイドラインを遵守し、計画的に実施した。

建物の保守管理については、随時館内巡視と定期的な施設設備の点検を実施し、設備の不具合及び故障箇所の早期発見と速やかな修理・復旧に努めた。

また、年間を通じて施設敷地内の除草や花木の手入れなどの環境の整備・管理に努めた。

6 修繕等

施設の老朽化に伴い、1階と2階和室の襖の張り替えや大広間の畳縁の交換、男女浴室及び更衣室の防湿用照明の交換等が発生した。

また、施設の簡易な補修や修理等は、職員が手がけるなど経費の節減に努めた。

・流山市地域福祉センター（流山市ケアセンター）の管理運営

1 開館日・利用時間

①月曜日から金曜日（但し、祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は除く）。

ただし、高齢者及び身体障害者デイサービスについては、土曜日と祝日も開設した。

②利用時間

午前9時～午後5時まで。ただし、利用内容によっては午後7時まで対応した。

利用件数（人数）

場 所	利用可能 日 数	午 前		午 後		夜 間		件数 合計	利用者 合 計
		件数	人数	件数	人数	件数	人数		
第1研修室	244	141	1,782	167	2,286	0	0	308	4,068
第2研修室	244	110	1,511	145	1,894	1	1	256	3,406
第3研修室	244	156	1,522	176	1,670	0	0	332	3,192
第4研修室	40	3	10	5	13	0	0	8	23
第5研修室	40	9	64	9	52	0	0	18	116
計	812	419	4,889	502	5,915	1	1	922	10,805

2 施設の機能を生かした事業等

高齢者デイサービスセンター、身体障害者デイサービスセンター、地域包括支援センター、ボランティアセンター、ホームヘルプステーション等を設置、運営し、これらの市内事業関係者の研修や会議等も実施した。

また、高齢者及び身体障害者デイサービスセンターで大学生（教員免許資格取得者）を受け入れ、福祉施設における教育実習に協力した。

3 自主事業について

主な自主事業としては、各種ボランティア養成講座等の開催や車いす、点字器などの福祉機器の貸出をした。

○ボランティア養成講座等の開催（8頁～10頁参照）

○福祉機器等の貸出件数

- ・点字器、アイマスク、白杖、高齢者疑似体験セット、ワイヤレスマイクセット（ハンド・ピン）、ライト等（11頁参照）
- ・車いす（15頁参照）

○心配ごと相談所の開設（13頁参照）

○成年後見制度相談所の開設（13頁参照）

4 各設備の維持管理

各施設、設備の保守点検等については、関係法令及び各種ガイドラインに則して計画的に実施し、施設利用者の利便性・安全性及び管理上、トイレ水漏れなど速やかに修理・復旧に努めた。

また、施設敷地内の樹木の剪定及び除草などを定期的に行い、環境に配慮した施設の維持管理に努めた。

5 修繕等

施設の老朽化に伴い、自動ドアの開閉不能による部品交換や厨房内蛇口、トイレの漏水、研修室のプロジェクタースクリーンの修理、火災通報装置の本体交換等が発生した。

また、軽易な修繕や花壇の雑草防止シート張りなどは、職員が行い経費の節減に努めた。

(15) 基金の運営

・ 災害対策基金

災害対策基本法に規定する災害の発生時に備えるための資金を整理・設置し、災害発生時に備えて必要な資金の迅速かつ必要に応じた対応を可能にする目的として、従来の災害対策積立金から「災害対策基金」として改めて設置し、昨今の大震災の多発、大規模自然災害の状況などを勘案し有事に備えて、寄付金や事業利益を元に資金造成及び管理を行うこととした。資金確保のため、基金から生ずる利息の確保に努めた。

・ 施設管理修繕基金

本会が管理するケアセンターや流山福社会館、流山こまぎ園等、施設の経年劣化に伴う修繕費や施設改修費等の必要な資金を確保する目的として、従来の社会福祉振興積立金を原資に改めて設置し、寄付金や事業利益を元に資金造成及び管理を行うこととした。修繕等費用の確保のため、基金から生ずる利息の確保に努めた。

・ 財政調整積立基金

年度間の財源調整を行い本会の財政の健全性の確保を目的として、これまでの財政調整積立金から「財政調整積立基金」として改めて設置し、寄付金や事業利益を基に資金造成及び管理を行うこととした。各事業の実施のため、本基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。

(16) 就労支援

・指定障害者福祉サービス事業所（就労継続支援B型）流山こまぎ園事業

障害のある人の働く場として、生産活動や社会参加活動等の機会を提供し、就労のための知識・能力向上のため必要な訓練を行った。

開設10年目の年度当初は、利用者15人で年度途中で2人の退所者があった。うち1名は就労継続支援A型へ、もう1名は流山市障害者就労支援センターへとステップアップしていった。

買物かご洗淨の受託事業は順調に推移しており、利用者工賃を平均月額31,279円支給し、春から初冬にかけては菜園活動（畑作業）を実施するなど活動内容の一層の充実に努めた。

さらに、社会福祉協議会が設置運営する事業所であるとの特性を踏まえ、障害の有無にかかわらず相互に尊重し合える共生できる地域社会づくりに向けて、八木北地区社会福祉協議会との連携・協働による共催事業の実施や収穫した野菜の販売、芋ほり交流会などをおして、地域交流を促進した。

このように、当事業所の効果的な運営を確保するとともに、利用者の自立支援と社会参加の促進を図り、就労継続支援事業の推進に努めた。

(1) 業務内容

- ①生産活動 … 買物かごの洗淨作業
- ②文化教養活動 … 年忘れお楽しみ会、和太鼓、日帰り旅行ほか
- ③健康指導 … 健康診断の実施、インフルエンザワクチン接種料の助成

(2) 利用状況（平成30年3月31日現在）

- ①年間開所日数 242日
- ②利用実人員 13人
- ③利用延べ人数 3,218人

(3) 作業実績

- 買物かご洗淨個数 1,177,020個
- 1日当たり平均洗淨個数 4,863個

2 公益事業

介護保険

・居宅介護支援

要支援者及び要介護者が適切な保健、医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に受けられるよう配慮し、関係市町村、地域の保健・医療サービス及び福祉サービス事業者等と連携を図りつつ、総合的なケアマネジメントに努めた。

(1) 居宅介護支援延実施件数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
867	644	315	234	202	2,262

(2) 介護予防居宅介護支援延実績件数

要支援1	要支援2	総合事業	合計
7	54	201	262

・介護認定訪問調査受託事業

流山市から介護認定訪問調査業務を受託し、介護保険法に基づく要介護認定申請者に対して、関係法令を遵守し、公正中立な立場で調査業務を実施した。

介護認定訪問調査実施件数（年間） 1,219件

・流山市南部地域包括支援センター受託運営事業

(1) 総合相談支援業務

担当地域に住む高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて継続支援している。

相談内容別件数

	介護・日常生活	サービスの利用	医療	所得・家庭生活	苦情	虐待等権利擁護	成年後見	介護予防プラン	合計
実数	1,631	327	112	51	0	15	53	333	2,522
延件数	3,785	1,197	429	159	0	110	207	945	6,832

地域別相談件数

	市野谷	三輪野山	加	平和台	流山	西平井	鱈ヶ崎	南流山	木	他地域	合計
実数	105	141	323	400	280	209	352	532	51	129	2,522
延件数	262	420	853	1,080	714	635	903	1,604	113	248	6,832

地域連携推進会議開催 4回

テーマ「地域包括ケアシステムの構築の基盤づくり」

- ・改正道路交通法と認知症高齢者の運転について
- ・看護小規模多機能について
- ・かかりつけ薬局・薬剤師について
- ・保健所の精神保健事業について

上記事業所を招き、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会メンバーと情報共有を行った。

(2) 権利擁護業務

高齢者の適切な権利行使の為の支援、権利侵害からの救済及び侵害防止のための支援を行った。地域支援事業として周知活動を実施。

- ・ 日常生活自立支援事業の活用件数 1 件
- ・ 成年後見制度相談件数 19 件
法定後見 (後見 2 件、保佐 2 件)
申し立て準備中 1 件、情報提供 2 件、その他 4 件、相談中 6 件
- ・ 虐待件数 実数 7 件
- ・ 認知症等家族のつどい 6 回
- ・ 認知症サポーター養成講座 13 回 (644 人)
自治会 (1 回)、高校 (1 回)、介護支援サポーター (2 回)、
小学校 (1 回)、中学校 (1 回)、薬局 (1 回)、
介護事業所 (1 回)、ケアセンター (2 回)、スポーツクラブ (1 回)、
地区社協見守りの会 (1 回)、歌声グループ (1 回)
- ・ 認知症サポーターフォローアップ教室 1 回 (14 人)

(3) 介護予防ケアマネジメント業務

介護保険の基本理念に基づき「自立支援」を旨とし、生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援・要介護の予防やその重症化の予防、改善を図り、早い段階から高齢者ができる限り自立した生活を送れるように支援した。

介護保険認定者区分別者数(延数)

	更新	新規	区分変更	合計
要支援	178	147	6	331
要介護	38		62	100
非該当	5	11		16
合計	221	158	68	447

介護予防・ケアマネジメント実績数(延数)

包括	706
委託	1,677
合計	2,383

(4) 介護予防の普及・啓発

- ・ 単位老人クラブ (6 か所)、ふれあいの家 (2 か所)、自治会 (5 か所)、地区社会福祉協議会 (4 か所) に出前講座を定期化し、実施した。
(転倒予防、健康体操、消費者被害防止、認知症予防、口腔体操、介護

保険講座等)

上記の他、自治会、単位老人クラブ、地区社会福祉協議会等、単発で出前講座を実施した。

年間 163回 参加数 4,510人

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員支援 921件
(虐待、成年後見、所得、認知症、精神障害等の困難ケース)
- ・民生委員相談支援 174件
- ・南部地域ケアマネ交流会 5回
(医療関係者、サービス事業者、民生委員等) 317人
- ・地域ケア会議 9回

(6) その他

- ・ホームページの更新、チラシ等の配布により地域へのPRを継続して行った。
- ・資源マップを小学校区地域ごとに取りまとめ、介護、介護予防等の地域の情報を整理し、随時更新した。

3 収益事業

自動販売機設置

飲料水の売り上げの収益の一部が社会福祉協議会の収益となり、福祉活動を通して市民に還元することができる社会貢献型自動販売機の設置に取り組んでいる。

市内の公共施設にご協力をいただき、平成30年3月末現在で18か所、20台の社会貢献型自動販売機を置かせていただいている。(コミュニティプラザ流山とキッコーマンアリーナ、流山市ケアセンターについては、災害発生時には本体に残っている飲料が無償で提供される災害ベンダー機能付き)

また、契約更新時に電気使用量を抑えるために、より消費電力の少ない自動販売機に切り替える等、ランニングコストの低減に努めた。